

授業科目	臨床ゼミナール I				
担当者	吉田 文 (実務経験者)				
実務経験者の概要	精神科病院における作業療法の臨床経験および臨床実習指導の経験				
学科名	作業療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

この科目では、作業療法に欠かせないコミュニケーションスキルや面接・観察を中心に学習を行う。臨床見学実習でその知識・技術を活用できるようにグループワークによる演習を行い、事例を基にディスカッションする。他の科目で学んだ知識・技術も使いながら、作業療法場面における情報を掴み、作業療法と対象者について概説できる力をつける。

## ■ 到達目標

1. 作業療法学生として対象者・スタッフとコミュニケーションができる
2. 面接により作業療法評価に必要な情報を収集する
3. 観察により作業療法評価に必要な情報を収集する
4. 得た情報をもとに作業療法と対象者について概説できる

## ■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション 臨床実習の環境、社会人・医療人としての基本的資質とは
- 第2回 コミュニケーションとは？人と接するための基本  
コミュニケーションスキル演習①
- 第3回 人との関係づくりの基本 対象者・家族との関係づくり  
コミュニケーションスキル演習②
- 第4回 人との関係づくりの基本 スタッフ・社会との関係づくり  
コミュニケーションスキル演習③
- 第5回 作業療法における観察とは？  
観察の演習①
- 第6回 観察に必要な知識・技術  
観察の演習②
- 第7回 観察場面についてのディスカッション 事例を用いて  
観察の演習③
- 第8回 作業療法における面接とは？  
面接の演習①
- 第9回 面接に必要な知識・技術  
面接の演習②
- 第10回 面接場面についてディスカッション 事例を用いて  
面接の演習③
- 第11回 作業療法場面の捉え方 作業療法に関する文献を治療構造に沿って捉える
- 第12回 臨床実習記録の書き方 SOAP 形式
- 第13回 臨床実習における報告・連絡・相談
- 第14回 臨床実習におけるリスク管理 (車イス介助含む)
- 第15回 授業のまとめ

## ■ 評価方法

リアクションペーパーの提出及び内容20%、提出物30%、最終レポート50%  
グループワークや演習を交えながら進めるため出席を基本とする。遅刻・早退-2点、欠席-5点の減点とする。但し事前に連絡があり、やむを得ない遅刻・早退・欠席と認められた場合は考慮することがある。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎回のリアクションペーパーと提示する課題（復習と予習、A4で1～2枚程度）を次回授業時または定められた期限内に提出すること

## ■ 教科書

書名：標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第3版  
著者名：小林夏子 福田恵美子  
出版社：医学書院

## ■ 参考図書

書名：コミュニケーションスキルトレーニング 患者満足度の向上と効果的な診療のために  
著者名：松村真司 編集  
出版社：医学書院

書名：医療コミュニケーション 実証研究への多面的アプローチ  
著者名：藤崎 和彦 編集  
出版社：篠原出版新社

書名：高齢者援助における相談面接の理論と実際  
著者名：渡部律子  
出版社：医歯薬出版

書名：コミュニケーションスキルの磨き方  
著者名：澤 俊二・鈴木孝治  
出版社：医歯薬出版

書名：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版  
著者名：矢谷令子  
出版社：医学書院

## ■ 留意事項

## ■ 講義受講にあたって